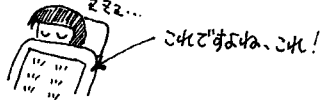


ところ変われば 言葉変わる?!

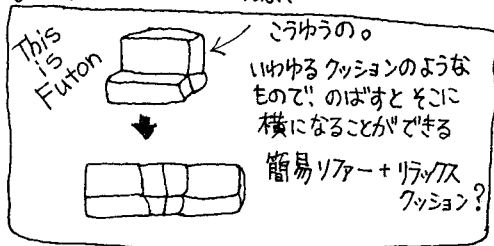
アメリカにおいても、国際社会といわれるこの頃日本語がそのまま英語として使われているものも少なくありません。

ただ、日本語の本来の意味とは少し違ったものになってしまっているものもあります。

例えば「Futon (フuton)」。日本語でフutonといえは...



でも、アメリカで「フuton」といえは、



ちなみに発音は「フuton」といいます。

あとおもしろいのは「オタク」。日本で「オタク」といえは、あまりいいイメージをもちませんよね。

でもアメリカで「オタク」というと、「1つのことを極めて知っているスペシャリスト」という意味で、すごくポジティブな意味としてとらえられます。

だから、

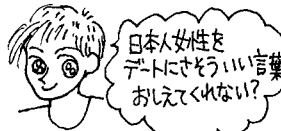


日本の歴史や日本文化に詳しい人には「オタクー！」って言ったらなんか喜んでくれます。

答えられない質問!

田舎は別ですが、都会になると様々な人種が1つの街に住みそれによってお互いの文化や宗教を理解しながら生活しています。日本文化も興味をもっている人が「都会にいけばいくほど」多いのは事実で「はう。」

それによってアメリカ人から様々な日本に対する質問が「もちかけられるのですが、中には答えにくいものもあり、困ります。



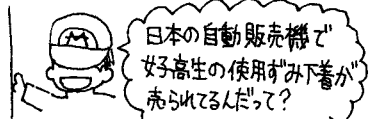
とか、(そういった質問多いんだー!)



あと、



— そんなおし屋きたことないよ。でもどこかにあるかもしれないので。どうともいえない... こんなの?



と聞かれ、逆に



と感心(?)したことがあります。皆が「知ってるってことに対して感心」ですよ!! その事自体に感心してるワケじゃないです!!

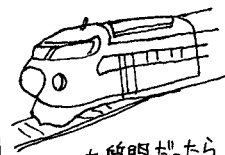
そういった部類の質問、答えにくいものにも関わらず、ものすごく多いんですよねー。日本ってもしかしてすごい変なイメージをもちられているのでは。

でも、日本の新幹線の話で東京-新大阪 552.6kmを約2時間30分で走ると言ったらアメリカ人は



そんなのあるはずないよ。そんな速く走ったらバラバラになっちゃうさ〜。信じないね。ウリだよ。

と信じてくれませんでした。



こういった質問だったら答えられるのにーみんな信じておくれー。

●平成8年3月 京都光華女子大学文学部日本文学科 卒業/平成8年3月~10年7月 宝塚市立看護専門学校 学校図書館司書として勤務/平成10年10月~ インターナショナル・インターンシップ・プログラムの研修生として米国サウスカロライナ州のリベロン小学校に日本語教師として 派遣/平成11年1月~ サウスカロライナ大学付属語学学校にて英語コースを専攻(University Of South Carolina, English Programs For Internationals)/平成11年8月 サウスカロライナ大学(心理学専攻)修学/平成13年2月 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン勤務/平成15年よりアメリカ・メリーランド州ボルチモアにて結婚新生活を始める。